

円卓会議総括報告（淀川河川事務所管内実施分）

2003.12.4

1 実施内容

1. 提出された意見は全部で60通あった。
2. 円卓会議の概要：淀川河川事務所の管内は広く、状況も地域毎に異なるので、3日間、4会場（大阪市天満橋、京田辺市、枚方市、京都市、各会場とも、日曜日の午後、3時間程度）で行い、延べ32人が意見を発表・議論した。
3. 意見発表者の選択においては、時間的な制約から、総数で8名ぐらいが適当であると判断し、意見書の内容を検討して、原則として積極的利用を主張する方と、保全復元を主張する方が人数的にバランスするように心掛けた。また若者と女性は応募数が少ないので、できるだけ優先して選択させていただいた。また、選択されなかったが会場にいられていた方には、優先的に会場での発言をお願いした。毎回、会場からの発言も相当数いただくことができた。

2. 円卓会議を行った意義

1. 初めての住民による円卓会議であり、このような機会を通じて相互の理解が若干なりとも進む可能性があることが認められ、開催したこと自体に相当な意義があったのではないかと思われる。
2. また、論議を進めるなかで、「河川敷の利用は縮小を基本とする」という基本方針に対する一般の人の理解はまだ不十分であり、なおさまざまな方法でPRすべきことが明らかになった。

3. 出された主な意見とファシリテータの感想

1. 河川敷利用者の意見としては、二つの意見があることが明らかになった。
 - ①堤内に施設が無いから、河川敷を利用せざるを得ないとするもの。この方々には、場所が無くなるという危機感がつよくあり、現状を死守するとの意見まであったが、同時に、他に行く場所さえあれば出ていく気持ちはあった。
 - ②都市河川の空間は、本来、公園や花壇、芝生、農地等として、例えばパリのセーヌ河畔のように、都市的な利用をすべきであるというもの。この御意見は保全・復元と真っ向から対立する考え方であり、着地点を見つけるために相当な論議と理論的な考察および具体的な技術や手法の開発が必要であると思われた。
2. 積極的利用を主張する方には、なお利用を拡張すべきとの意見（例えば枚方地区、京田辺地区）もあったが、これ以上の河川敷利用はすべきでない、現状凍結ないしは若干の縮小は必要との意見が各地区とも利用者側からかなり多く出されており、この点は大いに注目すべきであると思われる。
3. 保全・復元を主張する意見には、淀川生態系滅亡の危機感がつよく感じられ、復活を急がなければならないとしながらも、いま直ちに全面的に利用を停止すべきというわけではなく、一步一步着実に進めるべきとの意見が多かった。
4. 中間的な意見として、生態系の保全の必要性を十分認めた上で、ある程度の都市的・施設利用も認めるという、両立を求める意見も複数あった。
5. 意見の土台がまちまちで、議論がなかなか噛み合わなかった点は否めない。
6. 当初は自分の意見を言うだけで、他人の意見に耳を傾けようとしなかった人も、議論が進む中で、相互に新しい発見があって若干改善された事例も見うけられた。
7. したがって、今後なお議論を深めて行くことにより、両者の歩み寄りの余地はある

と判断された。

4. 今後の方向

1. 一定の結論を導くためには、円卓会議をなんらかのかたちで継続する必要があると思われる。
2. その場合、共通の土台を得るために、たとえば今回の意見発表メンバーに再度参集していただき、現場を視察した後に議論を行うという方法はどうか。
3. さらに次なる展開としては、①「河川敷の利用は縮小を基本とする」という基本方針に対する是非、②河川毎に「河川保全利用委員会」を設け事案毎に同委員会で議論するという方法についての是非、を具体的に提示し、議論することが河川整備計画を具体的に進めて行く上で重要であると思われる。

河川敷保全と利用の方向性についての円卓会議 実施状況

●発言応募数及び当日発言者数

実施日	開催地区	発言者応募数		選 定 理 由
		応募者	当日発言者	
11/2	大阪会場	17	8	大阪会場での発言応募者の中から、時間的制約より、発言内容などのバランスを考え、8名(含高校生1名)をお願いした。 (ゴルフ場関係者1名、野球関係者2名、地元出身者1名、河川敷の環境保全の意見等を持つ方4名)
11/9	京田辺会場	7	7	京田辺会場への応募者全員に発言をお願いした。
11/16	枚方会場	15	9	枚方会場での発言応募者の中から時間的制約より、発言内容などのバランスを考え、9名(内女性2名)をお願いした。 (ゴルフ場関係者1名・野球関係者1名、一般公園利用者2名、自治体関係者(個人資格)1名、河川敷の環境保全の意見を持つ方4名)
11/16	京都会場	11	8	京都会場での発言応募者の中から時間的制約より、発言内容などのバランスを考え8名をお願いした。 (河川敷利用者、河川環境保全のご意見を持つ方、中間の立場の方等)
	ご意見のみ	10		円卓での発言を希望していない方等
		60	32	

●傍聴者の参加人数等

実施日	開催地区	事前申込者	参 加 者 数			計	備 考
			参加者	当日参加者	報道機関		
11/2	大阪会場	133	103	24	8	135	TV:MBS 読売・大阪日々・日経
11/9	京田辺会場	54	40	14	0	54	
11/16	枚方会場	102	70	11	1	82	朝日新聞社
11/16	京都会場	91	53	16	1	70	京都新聞社
		380	266	65	10	341	

●傍聴者の事前申込方法

開催地区	ハガキ	FAX	メール	その他	合計
大阪会場	17	56	51	9	133
京田辺会場	4	27	21	2	54
枚方会場	16	38	40	8	102
京都会場	21	29	36	5	91

河川敷保全と利用の方向性についての円卓会議 実施状況

実施日		開催地区	会場名	ファシリテーター	淀川水系流域委員会 出席委員		
11/2 (日)	13:30~16:30	大阪会場	大阪マーチャングイズマートビル	綾 史郎	寺田 武彦	三田村緒佐武	—
11/9 (日)	13:30~16:30	京田辺会場	京田辺市立中部住民センター「せせらぎ」	片寄 俊秀	嘉田由紀子	川上 聡	—
11/16 (日)	13:30~16:30	枚方会場	大阪歯科大学牧野学舎	綾 史郎	川上 聡	山村 恒年	—
11/16 (日)	13:30~16:30	京都会場	京都市勧業館「みやこめっせ」	片寄 俊秀	田村 悦一	塚本 明正	山本 範子

住民対話集会(円卓会議)の予定について

No.	日時	河川名	担当事務所	会場	会場名	テーマ	ファシリテーター
1	11月2日	淀川下流	淀川河川	大阪市	大阪マーチャンダイズマートビル2階3・4・5号室	河川敷保全と利用の方向性について	大阪工業大学 教授 綾史郎
2	11月9日	木津川	淀川河川	京田辺市	京田辺市立中部住民センター”せせらぎ”メインホール	河川敷保全と利用の方向性について	関西学院大学 教授 片寄俊秀
3	11月16日	桂川・宇治川	淀川河川	京都市	京都市勤業館”みやこめっせ”地下1階 第1展示場	河川敷保全と利用の方向性について	関西学院大学 教授 片寄俊秀
4	11月16日	淀川中流	淀川河川	枚方市	大阪歯科大学 牧野学舎 本館3階 セミナー室	河川敷保全と利用の方向性について	大阪工業大学 教授 綾史郎
5	11月24日	姉川・高時川	琵琶湖河川	彦根市	彦根商工会議所 大ホール	丹生ダムについて	近畿大学 助教授 久隆浩
6	12月7日	猪名川	猪名川河川	川西市	川西市商工会館経済交流センター4F多目的ホール	高水敷保全と利用について	関西学院大学 教授 片寄俊秀
7	12月7日		琵琶湖河川	守山市	守山商工会議所	高水敷保全と利用について	龍谷大学 教授 笹文彦
8	12月7日	大戸川	大戸川ダム	京都市	京都リサーチパーク	大戸川ダムの計画見直し案について	立命館大学 教授 見上崇洋
9	12月14日	大戸川	大戸川ダム	大津市	大津市商工会議所 大津市打出浜1-3 TEL:077-522-4185	大戸川ダムの計画見直し案について	立命館大学 教授 見上崇洋
10	12月20日	姉川・高時川	琵琶湖河川	彦根市	ひこね燦ばれす 多目的ホール 彦根市小泉町648-3 TEL:0749-26-7272	丹生ダムについて	近畿大学 助教授 久隆浩
11	12月21日	宇治川	琵琶湖河川	宇治市	宇治市産業会館 多目的ホール 京都府宇治市宇治琵琶45-13 TEL:0774-23-3101	天ヶ瀬ダム再開発について	(株)関西総合研究所 久保田洋一
12	1月17日	姉川・高時川	琵琶湖河川	長浜市	長浜ロイヤルホテル ロイヤルホール 長浜市大島町38 TEL:0749-64-2000	丹生ダムについて	近畿大学 助教授 久隆浩
13	1月25日	宇治川	琵琶湖河川	大津市	大津市民会館 小ホール 大津市島の関14番1号 TEL:077-525-1234	天ヶ瀬ダム再開発について	(株)関西総合研究所 久保田洋一
14	1月25日	余野川	猪名川総合開発	箕面市	箕面市立箕面文化センター 8F大会議室 箕面市箕面6-3-1 TEL:072-721-1901	余野川ダムについて	摂南大学 教授 澤井健二
15	2月8日	宇治川	琵琶湖河川	宇治市	宇治市産業会館 多目的ホール 京都府宇治市宇治琵琶45-13 TEL:0774-23-3101	天ヶ瀬ダム再開発について	(株)関西総合研究所 久保田洋一